

03 芽かき・草取り (7/11)

不要な脇芽を取る「芽かき」をしました。地元の方に教わりながら慎重にしました。芽かきの後には草取りもしっかり行いました。



信州の伝統野菜「糸萱かぼちゃ」の栽培に挑戦!

—北山小学校4年生—

05 給食

収穫したかぼちゃは、給食で提供されました。取材した日は、カレーの中に糸萱かぼちゃが入っていました。



04 収穫 (9/16)

大切に育ててきたかぼちゃを収穫!! ずっしりと重く、立派に育ったかぼちゃを約100個も収穫することができました。



「糸萱かぼちゃ」とは 茅野市北山の糸萱地区で、明治以前から栽培されてきたかぼちゃです。糸萱地区の鉄分を多く含む土壌と標高1000m以上の寒暖差のある気候により、栄養価、甘みともに高いことが特徴です。平成27年、信州の伝統野菜に認定されました。



「信州の伝統野菜」とは 長野県内で栽培されている野菜のうち、「来歴」「食文化」「品種特性」という3項目について、一定の基準を満たしていると、長野県に認定された野菜が「信州の伝統野菜」です。



糸萱かぼちゃの栽培に挑戦! 北山小学校4年生(担任:山真司 教諭)が総合的な学習の時間に、地元糸萱地区で生産され、信州の伝統野菜にも認定されている「糸萱かぼちゃ」の栽培に取り組みました。糸萱かぼちゃ生産者組合の湯田坂一夫代表、島立雄幸副代表を講師に、種まきから収穫までの一連を体験しました。子どもたちは、講師の方から農具の使い方や、かぼちゃ・畑の管理の方法などを聞いて、大切に糸萱かぼちゃを育ててきました。収穫できた時は、これまでの頑張りが見られ、とても嬉しそうなお顔が見られました。給食では、自分たちが育てた糸萱かぼちゃを美味しく味わって食べていました。

02 間引き・補植・草取り (6/14)

2本生えた芽のうち、元気な1本だけを残す「間引き」をしました。また、枯れている苗の補植をしました。



01 畑づくり・種まき (5/17)

肥料撒きと畝づくり、マルチ敷き、マルチへの穴あけなどの畑づくりをした後、種を2粒、丁寧に植えました。



子どもたちの声

こんなに大きくなってビックリ! 早くかぼちゃを食べたい! 立派なかぼちゃがいっぱいとれて嬉しい スープや天ぷらにして食べたい! 育てるのは大変だったけど楽しかった! 想像していたよりも大きくて重かった

茅野市公式インターネット動画サイト「ビーナネットChino」でも配信しています。ご視聴はこちらから! →



信州の伝統野菜を食べて、元気に頑張してほしい

5月に種まきをしてから、草を取ったりして、今日の収穫祭を向かえ、たくさんの糸萱かぼちゃを収穫することができました。この面積でこんなにたくさん収穫できたのは、子どもたちが頑張ったからだと思います。大変よくできました。 私たちも子どもたちと一緒に、元気に楽しく栽培することができてよかったです。

自分たちで育てた野菜を食べることはこれからの人生でとってもいい経験になると思います。信州の伝統野菜を食べて、元気に頑張ってください。



糸萱かぼちゃ生産者組合 副代表 島立 雄幸さん